

## 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

<b>事業名</b>	親子通園クラスの設置						掲載ページ		
							46		
<b>コスト</b>	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	子ども家庭局
		1,431	千円	2,901	千円	施策名	保育サービス	担当課	保育課

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

<b>目的</b>	何を（誰を）どのような状態にしたのか 直営保育所で「親子通園クラス」を運営し、発達の気になる子どもを保護者とともに受け入れ、保育所での遊びや体験、相談を通じて継続した支援を行います。また、直営保育所と保健、医療、福祉の関係機関が連携しながら、児童の保育所、幼稚園などへの移行を支援します。	<b>活動実績</b>	活動結果は下記のとおりです。					
<b>活動計画</b>	八幡西区黒崎保育所、小倉北区東篠崎保育所において、親子通園クラスを運営し、発達に不安のある児童や育児に不安のある保護者を親子で受け入れ、遊びや相談を通じて、保育所や幼稚園、療育機関等への移行支援を行います。							
<b>活動指標</b>	<b>指標</b> （数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績 （達成率）		→	【活動の状況】	
	親子通園クラスの利用者数							
	保育の質の向上、多様なニーズに対応した特別保育の充実などの取り組みによる成果を示すには、親子通園クラスの利用者数が適当と考えられるため、指標として掲げました。  （最終目標と最終年度）7ヶ所、平成26年度	269 組	200 組	217 組			大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
				108.5 %			順調 やや遅れ 遅れ	順調
	（最終目標と最終年度）							

### 【Check】評価（分析）

<b>分析及び課題の整理</b>	<b>【活動の状況】</b> を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	小倉北区東篠崎保育所と八幡西区黒崎保育所の親子通園クラスで、遊びの提供や保護者との懇談を行い、発達の気になる子どもや育児に不安のある保護者に対し、継続した支援を行いました。黒崎保育所は延べ127組、東篠崎保育所は延べ90組の親子が利用しました。通園利用世帯に対して実施したアンケートで、利用者の満足度は100%でした。また、次年度の移行先が決定した世帯も62%を超え、移行支援としての成果も出ていることから順調としました。なお、本事業は全国的に先駆けた事業です。
	<b>「経済性」</b> <b>「効率性」</b> の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	直営保育所の経費資源を活用することでコストを抑えるとともに、利用料として1世帯あたり月に4,000円を徴収しています。

### 【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること

実施している2ヶ所について検証していきながら、関係機関との連携、PRを行い、発達の気になる子どもや育児に不安のある保護者に対して、継続した支援を行います。
---



## 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

<b>事業名</b>	子育て支援員の養成・配置（保育所）						掲載ページ		
							47		
<b>コスト</b>	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立	担当局	子ども家庭局
		682	千円	603	千円	施策名	保育サービス	担当課	保育課

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

<b>目的</b>	何を（誰を）どのような状態にしたいのか 北九州市社会福祉研修所の研修の充実を図り、保育所の保育士を子育てに関する相談や育児サークルの支援等に対応できる「子育て支援員」として養成します。「子育て支援員」は、各区役所や市民センター等と連携しながら、地域に根差す保育所の子育て家庭支援の中心的な役割を担います。				<b>活動実績</b>	活動結果は下記のとおりです。			
<b>活動計画</b>	年間40名を受講対象とし、4年を1クールと設定し、全保育所（160施設）の保育士が参加するように計画しています。								
<b>活動指標</b>	<b>指標</b> （数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		<b>前年度実績</b>	<b>目標</b>	<b>実績（達成率）</b>	→	<b>【活動の状況】</b>		
	子育て支援員養成人数		46 名	40 名	40 名	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック		
	専門性を活かし、きめ細やかな子育て相談等に対応できるよう、子育て支援員としての養成した人数を活動指標としてあげました。 （最終目標と最終年度）				100.0 %				
	子育て支援員の配置保育所数		158 施設 （100%）	160 施設	160 施設	順調 やや遅れ	順調		
保育所の保育士を子育てに関する相談や育児サークルの支援等に対応できる「子育て支援員」として養成し、保育所に配置し、育児に悩む保護者を支援できるよう、活動指標としてあげました。 （最終目標と最終年度）すべての保育所（現状維持）、平成26年度		100.0 %			遅れ				

### 【Check】評価（分析）

<b>分析及び課題の整理</b>	<b>【活動の状況】</b> を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	子育て支援指導者の育成を計画的に行い、「子育て支援員養成講座」を6日間実施しました。子育て支援の推進及び保育の質の向上を図ることが出来たことから、順調と判断しました。
	<b>「経済性」「効率性」</b> の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	北九州市福祉事業団に委託している社会福祉研修所が主催した研修を受講しているため、これ以上コストを下げることは出来ません。

### 【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること

今後も、スーパーバイザーの役割を担う子育て支援員の養成のため、研修を継続実施します。

## 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

<b>事業名</b>	身近な施設における相談の実施							掲載ページ	
								47	
<b>コスト</b>	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	子ども家庭局
		0	千円	0	千円	施策名	保育サービス	担当課	保育課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価					
<b>目的</b>	何を（誰を）どのような状態にしたのか	保育所や幼稚園、学校、市民センター、小児科医などの身近な施設において、通常の業務や活動の中でそれぞれの特性を生かした子育て相談や情報の提供を行っています。このうち、保育所においては、すべての施設で地域の子育て家庭を対象とした育児相談をはじめ、情報の提供を行います。							
<b>活動計画</b>	保育所において、子育て家庭を対象として育児に関する相談や情報提供を行います。						<b>活動実績</b>	活動結果は下記のとおりです。	
<b>活動指標</b>	<b>指標</b> （数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		<b>前年度実績</b>	<b>目標</b>	<b>実績（達成率）</b>		→	<b>【活動の状況】</b>	
	育児相談や子育て情報の提供施設数		158 (100) % 施設	160 施設	160 施設		100.0 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	保育所での、育児相談や子育て情報の提供施設数が適当と考えられるため活動指標としました。  （最終目標と最終年度）								
							やや遅れ	順調	
（最終目標と最終年度）						遅れ			

【Check】評価（分析）			
<b>分析及び課題の整理</b>	<b>【活動の状況】</b> を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	保育所における地域事業の一環として位置づけをしています。保育所が持つ専門的知識やノウハウを生かして相談を受けたり、親子のふれあい遊びを提供して愛着関係がスムーズに築けるように支援をしました。各保育所で開催している子育て広場は、年々参加者が増加し、電話相談も多くなってきています。子育てに不安を感じている在宅の母親にとって地域にある身近な相談場所として大きな役割を果たしたことから、順調としました。
	<b>「経済性」</b> <b>「効率性」</b> の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	保育所の地域事業の一環として実施している相談業務であり、新たなコストはかかりません。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること
<p>保育者が持つ専門的知識やノウハウを活かして、関係機関と連携をとりながら子育て広場の開催や子育て相談、情報の提供などを引き続き行います。地域の子育て家庭のニーズに応じて支援の充実を図ります。</p>

## 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

<b>事業名</b>	子育て支援総合コーディネーターの配置						掲載ページ		
							47		
<b>コスト</b>	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	子ども家庭局
		15,096	千円	14,322	千円	施策名	保育サービス	担当課	保育課

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

<b>目的</b>	何を（誰を）どのような状態にしたのか	「子育て支援サロン“びあちえーれ”」に子育て支援総合コーディネーターを3名配置し、面接、電話、インターネット（メール）による子育てに関する相談の対応を行うとともに利用者に必要な関係機関との連絡、調整等の支援を行います。							
<b>活動計画</b>	市において、北九州市保育所連盟と委託契約を締結し、保育士等により構成された子育て支援コーディネーター3名を配置して子育てに関する相談への対応や各関係機関との連携、コーディネーター業務等を実施します。		<b>活動実績</b>	活動結果は下記のとおりです。					
<b>活動指標</b>	<b>指標</b> <small>（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）</small>	<b>前年度実績</b>	<b>目標</b>	<b>実績 （達成率）</b>	→	<b>【活動の状況】</b>			
<b>活動指標</b>	コーディネーターの配置人数	3 名	3 名	3 名	100.0 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック		
	子育て支援サロン“びあちえーれ”において、子育ての悩み等相談に適切に応じるには、コーディネーターの確保が必要なことから、活動指標にしました。  <small>（最終目標と最終年度）</small>								
<b>活動指標</b>	育児講座の実施回数	10 回	10 回	10 回	100.0 %	順調	順調		
	大学教授や小児科医、保育経験者等を講師に招き、子どもの発達や食育、遊び等をテーマとした育児講座を受講することで、子育ての悩みや不安の解消の一助につながると考え、活動指標としました。  <small>（最終目標と最終年度）</small>			やや遅れ		遅れ			

### 【Check】評価（分析）

<b>分析及び課題の整理</b>	<b>【活動の状況】</b> を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	「子育てふれあい交流プラザ」内の子育て支援サロン“びあちえーれ”において、子育て支援総合コーディネーターを3名配置し、子育てに関する相談に応じ、利用者に必要な関係機関との連絡、調整等を行います。また、大学教授や小児科医、保育経験者等を講師に招き、子どもの発達や食育、遊び等をテーマとした育児講座の開催や、絵本の貸し出しを行い、子育て支援の充実を図りました。 子育てに関する相談は、電話相談1180件、面接相談830件、メール相談139件あり、利用者に必要な関係機関との連携、調整等も行い、常に情報収集にも努めています。 以上のことから、活動は順調としました。
	<b>「経済性」 「効率性」</b> の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	限られた予算で事業を展開しており、施設内での育児講座や貸し出し図書、玩具の購入、リーフレットの作成などを通して事業の周知を図り、効率的な運営をしています。26年度はさらなる予算削減の中、ポスター等の紙質を落としたり、印刷部数を減らしたりするなど、工夫した運営に取り組むようにします。

### 【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること

今後も子育てに関するニーズに応えるため、継続して事業を実施します。

## 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

<b>事業名</b>	一時保育事業							掲載ページ	
								48	
<b>コスト</b>	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	子ども家庭局
		46,862	千円	54,679	千円	施策名	保育サービス	担当課	保育課

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

<b>目的</b>	何を（誰を）どのような状態にしたのか	保護者のパート就労や冠婚葬祭、及び育児リフレッシュ等の理由により、一時的に家庭での保育が困難となる児童を保育所において保育します。今後は、実施施設数を増やします。							
<b>活動計画</b>	引き続き一時保育実施施設を増やし、子育て家庭等の支援を行います。		<b>活動実績</b>	活動結果は下記のとおりです。					
	<b>指標</b> <small>（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）</small>	<b>前年度実績</b>	<b>目標</b>	<b>実績 （達成率）</b>	→	<b>【活動の状況】</b>			
	一時保育事業を実施する保育所	63 施設	67 施設	67 施設		活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック			
	実施保育所数を増やすことで、保護者の就労等の理由により、一時的に家庭での保育が困難となる児童を保育することができると考え、活動指標としました。  (最終目標と最終年度) 64施設、平成26年度			100.0 %	大変順調				
	(最終目標と最終年度)				順調	順調			
					やや遅れ				
					遅れ				

### 【Check】評価(分析)

<b>分析及び課題の整理</b>	<b>【活動の状況】</b> を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	平成25年度は4施設で新規開設を行い、全67施設において年間延べ23,908人の児童が利用したことから順調としました。一時的な就労等多様化する就労形態への対応や、専業主婦等の育児リフレッシュへの対応等について有効です。
	<b>「経済性」 「効率性」</b> の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	補助金は利用児童数に応じた額となっており、限られた補助の中で人員を配置し実施するなど、合理的に事業を行っています。

### 【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること

一時保育を幅広く展開していくことで、待機児童の解消や子育て支援家庭への支援にも繋がることから、今後も一時保育の実施施設の増加を図ります。





# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	保育所・幼稚園情報の積極的な提供						掲載ページ
							48
コスト	事業費	平成24年度執行額	平成25年度予算額	政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	子ども家庭局
		8,438 千円 <small>「子育てに関する情報提供・PR事業」の総額。本事業は、その一部。</small>	3,216 千円 <small>「子育てに関する情報提供・PR事業」の総額。本事業は、その一部。</small>	施策名	保育サービス	担当課	保育課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
目的	市民に愛され親しまれる保育所・幼稚園となるため、また、市民が保育所・幼稚園を選択する際の一助となるよう、ホームページの充実や、ガイドブックの作成などにより、積極的に、保育所・幼稚園の情報提供に取り組めます。さらに、保育所・幼稚園に通う子どもや保護者向けの情報を保育所・幼稚園を通して提供したり、市ホームページ上で各保育所の入所状況を表示するなどして、タイムリーな情報提供を展開します。			活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動計画	在園児や保護者向けの情報を、保育所・幼稚園を通して提供します（H25.9「こそだて情報」を認可保育所・幼稚園在籍児童に配布）。また、市ホームページ等の充実を図ります。						
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】	
	情報提供を行った保育所・幼稚園の箇所数	全施設に配布 (265施設)	全施設に配布 (265施設)	全施設に配布 (262施設)	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	保育所・幼稚園を通じた情報提供を行うことが、タイムリーな情報提供につながるため、活動指標として掲げました。市内のすべての認可保育所（園）、幼稚園を通じた情報提供を行います。  （最終目標と最終年度）市内の全ての認可保育所（園）、幼稚園への情報提供（26年度）						
ホームページの更新回数	12回	12回	12回 100.0%	順調 やや遅れ 遅れ	順調		
	平成21年度より、市内各保育所の入所状況を市ホームページで公開しており、毎月（年12回）の入所状況の公開を継続することが、入所希望者等への積極的な情報提供につながるため、活動指標に掲げました。  （最終目標と最終年度）						

【Check】評価（分析）			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	ホームページ「子育てマップ北九州」による情報提供や保育所・幼稚園に通う全児童に「こそだて情報」を配布することにより、保護者に子どもの成長や年齢に応じた情報をタイムリーに提供することができています。また、毎月（年12回）、市内各保育所の入所状況を市ホームページで公開し、入所希望者等への情報提供を積極的に行ったことから、順調としました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	情報誌「こそだて情報」作成・配布にあたっては競争入札を行い、ホームページ「子育てマップ北九州」では指定管理者制度を導入し、経済的・効率的な情報提供に努めています。市の子育てに関する施策や施設の情報の取りまとめ等については、市のみが可能であり、実施主体としては市が適切であると考えます。ホームページを活用した情報提供は、低いコストでより高い効果を期待できるものであり、これ以上のコスト削減は困難と考えます。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること
26年度においても、子育て中の保護者が、子どもの成長に応じた情報をタイムリーに、かつ手軽に入手できるよう、「子育てマップ北九州」や、保育所・幼稚園を通じた情報提供の継続実施に努めます。 また、区役所窓口における保育所入所相談時に、ホームページによる情報提供の内容を周知するとともに、情報提供の継続実施に努めます。



## 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

<b>事業名</b>	施設・園庭の地域への開放						掲載ページ		
							48		
<b>コスト</b>	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	子ども家庭局
		0	千円	0	千円	施策名	保育サービス	担当課	保育課

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

<b>目的</b>	何を（誰を）どのような状態にしたのか	地域住民の理解を深め、開かれた保育所づくりを推進するため、未就園児と保護者に施設や園庭の開放を促進するとともに、行事へ地域住民の参加を促すなど、安全管理の下で開放的な雰囲気づくりに取り組みます。							
<b>活動計画</b>	未就園児とその保護者に保育所の施設や園庭を開放します。		<b>活動実績</b>	活動結果は下記のとおりです。					
<b>活動指標</b>	<b>指標</b> （数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		<b>前年度実績</b>	<b>目標</b>	<b>実績（達成率）</b>	→	<b>【活動の状況】</b>		
	施設園庭の地域への開放実施施設数								
	施設園庭の地域への開放実施施設数が適当と考えられるため、活動指標にあげました。  （最終目標と最終年度）		158 施設 （100%）	160 施設	160 施設  100.0 %		活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック		
	（最終目標と最終年度）						大変順調 順調 やや遅れ 遅れ		
							<b>順調</b>		

### 【Check】評価（分析）

<b>分析及び課題の整理</b>	<b>【活動の状況】</b> を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	地域活動等を通して、地域の年長者や在宅親子との交流を行いました。不審者対策を十分に考慮の上、開かれた保育所づくりを推進することができたので、順調としました。地域住民や在宅の未就園児親子を行事等や育児講座などに招待することで、保育所への理解が深めることができました。また、専門性を活かした子育て支援は子育てに悩む保護者の方に喜ばれており、有効です。
	<b>「経済性」</b> <b>「効率性」</b> の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	保育所の機能を生かして、地域の保育所への理解を得ることができ、開かれた保育所づくりをするので、新たなコストはかかりません。

### 【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること

今後とも保育所の機能を生かして、地域の子育て支援を充実させ、安全管理の下、開かれた保育所づくりを進めます。
---

## 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	親子ですすめる食育教室						掲載ページ		
							48		
コスト	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	子ども家庭局
		971	千円	1,011	千円	施策名	保育サービス	担当課	子育て支援課

### 【Plan】計画 →

目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	乳幼児期からの正しい食事の仕方や望ましい食習慣の定着のために、幼稚園や保育所等において、入所児童の保護者を対象に乳幼児期の食育について、栄養士の講話や調理実演などを行います。		活動実績	活動結果は下記のとおりです
活動計画	毎年40回実施予定であり、より多くの対象者に食育を推進していきます。				

指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】
「親子ですすめる食育教室」の開催回数					
幼稚園、保育所等において教室を開催することにより、より多くの対象者に食育の推進ができるため、活動指標としました。  (最終目標と最終年度) 毎年40回開催 平成26年度	40 回	40 回	40 回  100.0 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
				順調	
				やや遅れ	順調
				遅れ	
(最終目標と最終年度)					

### 【Check】評価（分析）

分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。
	【経済性】 【効率性】の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。
		年長児のほとんどが幼稚園、または保育所に通っており、保護者にも参加しやすい場所での開催は、多くの参加者を得られ、食育の推進するに有効であり、目標どおり開催できたことから順調としました。
		従事者にボランティアを加えており、コストの面では抑えられています。

### 【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること

今後とも、望ましい食習慣の定着のために、幼稚園、保育所等において教室を実施することで、食育を推進します。

## 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

<b>事業名</b>	保育所を通じた地域への食育推進事業						掲載ページ		
							49		
<b>コスト</b>	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	子ども家庭局
		0	千円	0	千円	施策名	保育サービス	担当課	保育課

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

<b>目的</b>	何を（誰を）どのような状態にしたのか 保育所において、食事に関する不安を解消するために、入所児童の保護者に加え、地域の子育て家庭を対象として食育に関する相談や講演会等を充実します。				<b>活動実績</b>	活動結果は下記のとおりです。				
<b>活動計画</b>	各保育所に実施保育所の取り組みの事例発表や各保育所における実施の有無のアンケート結果を周知することにより、今まで実施していなかった施設に対して新たな取り組みを促します。									
<b>活動指標</b>	<b>指標</b> （数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）			前年度実績	目標	実績 （達成率）		→	【活動の状況】	
	地域の子育て家庭に対し食に関する支援を実施している保育所の割合			64 %	70 %	66 %		大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	支援を実施している保育所の割合の増加が、支援の充実と比例していると考えられるため、活動指標として掲げました。  （最終目標と最終年度） 平成26年度70%					94.3 %				
	（最終目標と最終年度）							順調	<b>順調</b>	
							やや遅れ			
（最終目標と最終年度）							遅れ			

### 【Check】評価（分析）

<b>分析及び課題の整理</b>	<b>【活動の状況】</b> を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	実施保育所の取り組みを未実施保育所に紹介することにより、一進一退ではあるが実施保育所が増加しており、順調と考えています。 講演会や食に関する情報提供は、入所児童の保護者とともに、地域の子育て家庭を対象とするので、より効果が高く、地域の保護者は身近な保育所で情報が得られることから、地域の食育推進として有効です。
	<b>「経済性」</b> <b>「効率性」</b> の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	保育所の行事として予算範囲内で行い、効果的に実施しています。

### 【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること

各保育所において、地域の子育て家庭へ給食のレシピ・食育だよりの配布や食に関する情報提供、食生活相談会、講演会等の支援を積極的に行うように支援します。
--

## 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

<b>事業名</b>	保育所入所児童への食育推進事業						掲載ページ		
							49		
<b>コスト</b>	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	子ども家庭局
		0	千円	0	千円	施策名	保育サービス	担当課	保育課

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

<b>目的</b>	何を（誰を）どのような状態にしたのか	保育所入所児童の食に関する興味や関心を高めるため、子どもたちが栽培活動や調理などを体験することや、給食を生きた食材として活用した食育指導の充実を図ります。				<b>活動実績</b>	活動結果は下記のとおりです。		
<b>活動計画</b>	実施保育所の取り組みの事例発表や各保育所における実施の有無のアンケート結果を周知することにより、100%の施設で実施しており、さらに内容が充実するように支援します。								
<b>活動指標</b>	<b>指標</b> （数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績 （達成率）	→	【活動の状況】		
	入所児童に対する食育を実施している保育所の割合		100 %	100 %	100 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック		
	食育指導を実施している保育所の割合の増加が、指導の充実と比例していると考えられるため、活動指標として掲げました。  （最終目標と最終年度） 100% 平成26年度								
	（最終目標と最終年度）					順調	順調		
（最終目標と最終年度）					やや遅れ				
（最終目標と最終年度）					遅れ				

### 【Check】評価（分析）

<b>分析及び課題の整理</b>	<b>【活動の状況】</b> を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	実施保育所の取り組みを周知することにより、100%の施設で実施しており、順調です。入所児童への食育指導の取り組みにより、子どもが食物に関心を持ち、楽しく食事することで健康な心と体を育むことから有効です。
	<b>「経済性」</b> <b>「効率性」</b> の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。」	保育所の保育の一環として取り組むので、予算範囲内で工夫し、より効果的に実施しています。

### 【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること

各保育所において、子どもが生活と遊びの中で、食にかかわる体験を積み重ねることができるように、栽培体験、調理体験等に積極的に取り組むように支援します。  
また、毎日の給食を通して、食事のマナー、行事食、栄養バランスなどについて教えていくように支援します。

## 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

<b>事業名</b>	保育所給食を通じた家庭への食育の普及啓発						掲載ページ		
							49		
<b>コスト</b>	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	子ども家庭局
		0	千円	0	千円	施策名	保育サービス	担当課	保育課

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

<b>目的</b>	何を（誰を）どのような状態にしたのか 保育所入所児童の保護者に、食育について関心を持ってもらうため、給食の保護者試食会や、献立表・食育だよりの配布などを通して、家庭への食育の啓発を図ります。	<b>活動実績</b>	活動結果は下記のとおりです。			
<b>活動計画</b>	実施保育所の事例発表や各保育所における実施の有無のアンケート結果を周知することにより、100%の施設で継続実施し、さらに内容が充実するように支援します。					
<b>活動指標</b>	<b>指標</b> （数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】
	入所児童の保護者に対し、食育の啓発を実施している保育所の割合	100 %	100 %	100 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	保護者への啓発を実施している保育所の割合の増加が、家庭への食育の啓発推進と比例していると考えられるため、活動指標として掲げました。 （最終目標と最終年度） 100% 平成26年度			100.0 %		
					順調	順調
（最終目標と最終年度）				やや遅れ		
				遅れ		

### 【Check】評価（分析）

<b>分析及び課題の整理</b>	<b>【活動の状況】</b> を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。  実施保育所の事例等を周知することにより、100%の施設で継続実施をしていることから順調としました。 また、入所児童の保護者への食育の啓発により、子育て支援のみならず、家庭の養育力の向上、保育所との連携が一層強化されています。
	<b>「経済性」</b> <b>「効率性」</b> の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。  各保育所が予算範囲内で工夫し、より効果的に実施しています。

### 【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること

給食試食会の開催や献立表・食育だより等の配布は、家庭での食育の実践が広がり、食を通じた子どもへの理解にもつながります。今後とも各保育所（園）の食育だより等の内容がさらに充実するように、調理員研修において、食育だより等のヒントになる講話や、情報交換を行います。

## 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

<b>事業名</b>	保育所給食におけるアレルギー対応						掲載ページ		
							49		
<b>コスト</b>	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	子ども家庭局
		11,877	千円	16,075	千円	施策名	保育サービス	担当課	保育課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
<b>目的</b>	何を（誰を）どのような状態にしたのか	食物アレルギーを有する児童に対して、アレルギー対応給食を提供します。					
<b>活動計画</b>	食物アレルギーを有する児童に対して、アレルギー原因食品の除去食や、代替食の対応を適切に実施するように支援します。						
<b>活動指標</b>	<b>指標</b> （数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） <small>（上段：指標名 下段：指標の考え方）</small> アレルギー対応給食の提供割合 給食は子どもの健康や発育・発達にも影響があり、食物アレルギーを持つ児童にあわせた除去食や代替食の提供は子どもの育ちを支え、保護者の育児負担の軽減となることから、活動指標として掲げました。 アレルギー対応給食提供数／食物アレルギーを有する児童数 （最終目標と最終年度）平成26年度 100%		前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】
			100 %	100 %	100 %		大変順調
					100.0 %	順調	活動を参考に、活動の状況をチェック
						やや遅れ	順調
						遅れ	
	（最終目標と最終年度）減少 26年度						

【Check】評価（分析）			
<b>分析及び課題の整理</b>	<b>【活動の状況】</b> を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	食物アレルギーの対応について、研修会の内容に組み込む等啓発を行い、実施保育所(園)数、100%を継続維持していることから順調としました。アレルギー対応給食により、その子どもの健康や発育・発達を支え、保護者の子育て不安を解消するので、保護者から喜ばれています。
	<b>「経済性」</b> <b>「効率性」</b> の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	調理室で給食を作りながら、代替食を作るので、経済的・効率的な運営を行っています。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること
各保育所において、アレルギー原因食品の除去や、代替食の対応を適切に行うように推進します。また、不適切な対応や、配膳ミスが起きないように、調理員研修等で注意喚起を行います。



## 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

<b>事業名</b>	保育所措置費用負担金の軽減						掲載ページ		
							49		
<b>コスト</b>	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	子ども家庭局
		852,194	千円	946,423	千円	施策名	保育サービス	担当課	保育課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価				
<b>目的</b>	何を（誰を）どのような状態にしたのか	保育所措置費用負担金（保育料）は、国の示す徴収金基準額に基づいて定めることを基本としています。本市では、保護者の負担を軽減するため、市独自の軽減措置に努めます。						
<b>活動計画</b>	保育所入所児童世帯の保育料負担軽減を維持します。						活動実績	活動結果は下記のとおりです。
<b>活動指標</b>	<b>指標</b> <small>（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）</small>	前年度実績	目標	実績 （達成率）	→	【活動の状況】		
	保育料軽減率 保育料は、国がその世帯の所得税や市民税課税額の階層区分に応じて基準額を定めています。本市においては、市民の負担をできるだけ軽くするため、国の8階層の区分を16階層に細分化して、国の基準額から全体で約20%の軽減を図っています。保育料の負担軽減状況を測るには、保育料軽減率が適当と考え、活動指標としました。 <small>（最終目標と最終年度）</small>	18.1 %	19.7 %	18.1 %		活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック		
				91.9 %	大変順調			
					順調		順調	
					やや遅れ			
					遅れ			
	<small>（最終目標と最終年度）</small>							

【Check】評価（分析）			
<b>分析及び課題の整理</b>	<b>【活動の状況】</b> を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	計画どおり保育料の負担軽減の維持に努め、保護者の負担を軽減したことから、順調としました。
	<b>「経済性」</b> <b>「効率性」</b> の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	市独自の保育料軽減措置により、保護者の負担を軽減しています。本市の保育料負担軽減率は、政令市の中でも低い軽減率（20政令市中19位）であり、経済性を考慮して、今後も維持していくこととしています。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること
厳しい財政状況の中、保護者の負担を軽減するため、今後も、保育料負担軽減措置の維持に努めます。